

2022年度 エヌ・シー・ティ放送番組審議会

1. 開催日時：2022年12月15日（木）11:00～12:30
2. 開催会場：エヌ・シー・ティ本社 3F 大会議室
3. 出席委員：4名（委員総数6名、うち欠席2名）

出席委員		放送事業者	
委員長	長谷川 和明	今泉 道雄	代表取締役社長
委員	石井 美紀	大久保 泰宏	取締役地域情報部長
委員	田村 栄一	野本 隆行	地域情報部CP
委員	川上 恵子	東條 真一	地域情報部課長
敬称略、順不同		渡辺 早貴	地域情報部リーダー

4. 開会挨拶（今泉社長）

今年度は3年ぶりに長岡花火が開催され、NCTでは越後三大花火の生中継を実施することができた。高校野球は県予選1回～決勝戦まで放送し、同日開催となった燕・見附市議会議員選挙は2チャンネルを利用して二元中継を行うなど、コロナ禍でもNCTらしい取組ができた。また、サブチャンネル112チャンネルを「防災・生活情報チャンネル」としてリニューアルし、12月からは道路渋滞情報の配信を始めた。

今後も、市民の生活に必要な不可欠な情報を届け、さらにこれを充実させていきたい。今後も1つ1つ丁寧に市民の要望にお応えし、地域にとってなくてはならないメディアを目指していきたい。

審議委員の皆様からは、忌憚のないご意見をいただき、活発な意見交換をお願いしたい。

5. 委員長挨拶（長谷川委員長）

エリア拡大に加え、番組の内容も年々進化しているように感じている。

これまで、テレビがもつライブ感をもっと出して欲しいと言いつけてきたが、地域のまつりやスポーツ中継など、いろんな取組に挑戦しているのは素晴らしいと思う。現場で見たくても現場へ行けない方もおり、テレビで見られる環境を用意いただけるのは大変嬉しい。今回のW杯でもそうだったように、大勢の方が一緒に盛り上がり共有することには、一定のニーズがあるのだろうと思う。

NCTは放送も通信も両方のコンテンツを持っており、今後の更なる飛躍に期待したい。

委員長としても、より良い番組づくりに貢献していきたい。

6. 報告事項（渡辺リーダー）

- ・今年度の主な取組

7. 審議

(1) レギュラー番組について

番組名：「花火+（プラス）」

概要：2022年4月より放送開始。花火打ち上げの裏側など、毎月花火にまつわる様々なことについて取り上げるレギュラー番組。花火好きにも「プラス」になる情報を発信。

<審議委員からの主なコメント>

- ・人の思いを深く聞いていて、NCTらしさを出した良い番組だと感じた。大変面白かった。
- ・こんな花火の見方があるのか、と新しい視点が持てた。
- ・煙の観方やその表現など、視聴者に新たな発見をさせてくれる、素晴らしいインタビューだった。

- ・インタビューのほかにも、普段の活動の様子を見たくなった。知ったからこそ、もっと深く知りたくなった。
- ・出演者が撮影した写真や映像をもっと見たかった。ホームページの情報や展示会などについても紹介いただけると良かったのではないかな。
- ・花火のダイジェスト映像が素晴らしかった。夏以外の季節でも活用できないか。番組の内容から少し離れるが、花火の映像が流れる飲食店などがあると良いと思った。
- ・ドローンなど花火映像のきれいさに感心した。動きながらの花火映像が新鮮だった。
- ・写真撮影の経験があるが、こういう撮り方があったのか、との気づきがあった。
- ・各花火大会に興味を持てた。長岡以外の地域の花火も見に行きたいと感じた。
- ・長岡花火に対する市民や関係者の思いをもっと聞いてみたいと思った。全国にPRして欲しい。
- ・これまで、花火は打ち上がったものを見るだけだったが、花火大会が始まる前からの関係者の思いや期待をストーリーとしてみることで面白かった。改めて、色んな方々が携わって開催されていることを感じた。
- ・違う意味で長岡の魅力を伝えられる、良いヒントを与えられた。
- ・今後も花火に関わる「人」にフォーカスして欲しい。また次の展開につながっていくだろう。
- ・地域で受け継がれてきた貴重な文化としての花火の偉大さに改めて気付かされた。
- ・今後の企画として、花火のスポンサー企業にも目を向け、どのような気持ちで協賛しているのか、自社で打ち上げる花火をどこでどのように見ているか、なども紹介して欲しい。

(2) そのほかの番組全般について

<審議委員からの主なコメント>

- ・若い人はYouTubeを見ている人が多い。未加入者へのPRのためにも、YouTubeやスマホアプリで色々な情報を公開してほしい。良いものは常に流していた方が多くの人目に留まるのではないかな。あくまでもPR目的として、未加入者でも無料で見られるコンテンツを増やして欲しい。
- ・民放と異なり、比較的自由に長尺で深掘りできる点がケーブルテレビの強み。
- ・多チャンネルに関する情報も、もっと発信してほしい（チャンネルが多すぎて分からない）。
- ・いろんな方に使ってもらえるような取組や仕掛けなど、引き続き積極的にチャレンジし、反応を見て改善していくと良いのではないかな。
- ・「さとちんぴろんの縁側日記ウォッチング」は出演者が面白く、みていて楽しい。FMながおかと連携し、通常の番組と比べて効率の良い番組だが、ゆるい感じでローカル色が強く、身近にコアなファンもいる。ラジオの出演者など、人気のある地元タレントをもっと活用したらどうか。
- ・「オジさんぼ」は、地元の人にも知らない情報があり、より地域を知るきっかけになる。他の地域の方も興味を持つ。
- ・街歩きの番組は、そこで育った人や何十年と住んでいる人が紹介するから成り立つ番組だと思う。

8. 閉会挨拶（大久保部長）

- ・ご発言にあった通り、その地域に長く住んでいる方しか知らない情報がある。エリア拡大への対応として、引き続き各地で番組制作に協力いただけるお仲間を増やしていき、これからも地域の情報を広く発信していきたい。本日は誠にありがとうございました。

以上